

施策名	目標4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
施策の概要	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等を推進する。				
達成すべき目標	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等について施策の総合的かつ計画的な推進を図る。				
施策の予算額・執行額等	区分	21年度	22年度	23年度	24年度
	当初予算(a)	55,743,000	49,028,000	44,481,149	43,401,216
	補正予算(b)	1,597,000	0	16,606,000	0
	繰り越し等(c)	23,416,000	17,111,000	(※記入は任意)	
	合計(a+b+c)	80,756,000	66,139,000	(※記入は任意)	
執行額(千円)	39,220,000	60,882,000	(※記入は任意)		
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)					

測定指標	1 一般廃棄物の排出量(百万トン)	基準値	実績値					目標値
		19年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
		52	51	48	46	45	50	
	年度ごとの目標値							
	2 一般廃棄物のリサイクル率(%)	基準値	実績値					目標値
		19年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
		20	20	20	20	21	25	
	年度ごとの目標値							
	3 一般廃棄物の最終処分量(百万トン)	基準値	実績値					目標値
		9年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	27年度
		12	6.3	5.5	5.1	4.8	5.0	
	年度ごとの目標値							
	4 一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量(g-TEQ/年)	基準値	実績値					目標値
		15年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度
		71	52	42	36	33	51	
	年度ごとの目標値							

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○平成22年度の一般廃棄物の排出量は45百万トン。平成24年度の目標値である50百万トンを下回っていることから、現時点で目標を達成している。総量及び国民一人当たりの排出量ともに平成12年度以降減少する傾向にあり、平成22年度は、前年度に比べそれぞれ890千トン/年、18g/人・日減少している。</p> <p>○平成22年度の一般廃棄物のリサイクル率は21%。平成24年度の目標値である25%を下回っていることから、現時点では目標を達成していない。、毎年着実に増加してきたが、平成19年度以降は横ばいで推移している。</p> <p>○平成22年度の一般廃棄物の最終処分量は4.8百万トン。平成27年度の目標値である5.0百万トンを上回っていることから、現時点では目標を達成している。最終処分量は、毎年順調に減少している。</p> <p>○平成22年度の一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量は33g-TEQ/年。平成22年度の目標値である51g-TEQ/年を下回っていることから、目標を大幅に上回り達成している。また、今後の削減計画については平成24年度改訂に向け検討中である。</p>
	目標期間終了時点の総括	<p>4つの指標のうち、一般廃棄物の排出量・最終処分量・焼却炉からのダイオキシン類の発生量という3つの指標において、目標値を達成しているため、一般廃棄物の排出抑制、適正処理は推進できている。</p> <p>一方、達成できていない一般廃棄物のリサイクル率については、緩やかに上昇しているものの、現時点においては目標を達成できていない。今後、バイオマス等、未利用の部分の利活用を進めるなどして、リサイクル率の向上に努める必要がある。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	一般廃棄物処理実態調査
---------------------------	-------------

担当部局名	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課	作成責任者名	山本 昌宏	政策評価実施時期	平成24年6月
-------	------------------------	--------	-------	----------	---------